

平成15年10月29日

## 平成16年3月期個別中間決算の概要について

シロキ工業株式会社

(輸送用機器 東証、名証第1部上場)

(\*百万円未満は切り捨てて表示してあります)

### 1、決算概要について

#### [ 主力得意先の堅調な国内生産と

#### 拡販活動で2.8%の増収 ]

当社の上半期の売上高は435億9千9百万円で、前年同期比11億9千1百万円増の2.8%の増収となりました。また5月27日に発表した期初予想416億円に対しても、19億9千9百万円の増収(4.8%増)となりました。(注：以下期初予想は5月27日発表の数値です。なお10月23日に業績予想の修正を発表し、売上高435億円に修正しています。)

増収の主な要因は、乗用車の国内生産が伸び悩んだものの、当社の主力得意先や受注車種の好調な販売による生産増と拡販活動による受注増、および全額出資の子会社である九州シロキ(株)の本格生産開始で九州地区での受注・生産体制が整ったことなどによるものです。

得意先別(前年同期比)では、主力のトヨタ自動車(株)が13億8千9百万円減(8.1%減)と生産車種のトヨタグループ内での移管で減少したものの、ダイハツ工業(株)が4億4千4百万円増(21.4%増)と、トヨタグループ全体では8億3千7百万円の増(3.1%増)と堅調に推移いたしました。この他、拡販活動によって日産自動車(株)が13億1千6百万円増(91.9%増)と大きく伸ばすことができました。

製品別では、シートリクライナ・シートアジャスタが9億7千6百万円の増加(6.8%増)と好調に伸びたほか、ドアサッシも8億4千5百万円増(10.4%増)と主力製品が健闘しました。

#### [ 期初予想に対して大幅な増益、

#### 前期比では退職給付費用と社会保険料の増加で減益 ]

利益につきましては、営業利益は13億3千4百万円となり、期初予想の8億円に対して5億3千4百万円増(66.8%増)と大きく伸ばすことができましたが、前年同期比

#### 個別中間期実績

(上段当中間期・下段前年同期)

##### 売上高：

435億9千9百万円

424億8百万円

(前年同期比2.8%増)

##### 営業利益：

13億3千4百万円

16億2百万円

(前年同期比16.8%減)

・退職給付費用増

2億1千4百万円

・社会保険料増

1億6千万円

##### 経常利益：

13億9千万円

15億2千5百万円

(前年同期比8.8%減)

##### 特別損失

6億5千4百万円

7億6千4百万円

(前年同期比14.4%減)

・退職給付費用(変更時差異償却)

3億3千万円

##### 中間(当期)純利益：

4億5千1百万円

5億1千8百万円

(前年同期比13.0%減)

##### 設備投資

(百万円)(前年同期)

上期実績

1,304(2,113)

通期予想

3,835(3,511)

##### 減価償却費

(百万円)(前年同期)

上期実績

2,255(2,270)

通期予想

4,681(4,933)

##### 1株当たり中間純利益

5円07銭

5円83銭

では2億6千8百万円減（16.8%減）となりました。経常利益は13億9千万円となり、期初予想7億円に対し6億9千万円増（98.7%増）とこれも大幅に伸ばすことができましたが、前年同期比では1億3千4百万円減（88%減）となりました。

（注：10月23日発表の業績予想の修正では経常利益13億円に修正しています。）

主な増・減益要因は、期初予想におきましては売上増加に伴う増益効果とともに、仕入れ価格の見直しや工数改善、物流動線の見直しなどで期初計画に対し3億1百万円増の8億6百万円の合理化効果をあげたことなどにより、大幅な増益となりました。しかしながら、前年同期比では退職給付費用の増加2億1千4百万円や総報酬制導入による社会保険料の増加1億6千万円などにより減益となりました。

最終損益につきましては、特別損失で退職給付費用3億3千万円や固定資産除却損などを計上し、中間（当期）純利益は4億5千1百万円となりました。期初予想1億円に対して3億5千1百万円増（351.0%増）となりましたが、前年同期比では6千7百万円減（13.0%減）となりました。

（注：10月23日発表の業績予想の修正では3億円に修正しています。）

中間配当につきましては2円50銭といたしました。

## 2、上期の主な取り組みについて

弊社では厳しい経営環境のなか、中期経営計画（01～05年度）を基に構造改革を着実に進めるとともに、全社を挙げて収支改善活動と業務改革に取り組み、企業体質の強化をはかりました。上期に実施した主な取り組みは次の通りです。

### 1、グローバル展開の加速

アジアでの生産・供給体制を強化するとともに、世界4極市場対応を加速しました。

韓国・亜山（株）に技術供与

- ・ドアサッシの生産で技術供与契約締結。（本年4月）
- 江蘇省昆山市に工場進出
- ・現地生産会社「昆山白木汽車零部件有限公司」を設立。（本年5月）

### 主要得意先の売上高 （上段当中間期・下段前年同期） （\*）内は売上構成比率

・トヨタグループ（\*63.9%）  
278億4千6百万円  
270億9百万円  
（3.1%増）

・売上高上位  
トヨタ自動車（\*36.1%）  
157億3千5百万円  
171億2千5百万円  
（8.1%減）

スズキ（\*13.1%）  
56億9千8百万円  
60億4千万円  
（5.7%減）

三菱自動車工業（\*6.3%）  
27億6千2百万円  
33億3千万円  
（17.0%減）

日産自動車（\*6.3%）  
27億4千9百万円  
14億3千3百万円  
（91.9%増）

### 主要製品の売上高 （\*）内は売上構成比率

シートリクライナ・  
シートアジャスタ  
（\*35.4%）  
154億2千万円  
144億4千3百万円  
（6.8%増）

ウインドレギュレータ  
（\*26.8%）  
116億6千6百万円  
117億2千9百万円  
（0.5%減）

ドアサッシ（\*20.6%）  
89億9千5百万円  
81億4千9百万円  
（10.4%増）

### 合理化（改善）活動の成果

費目	百万円
売上高	228
材料費	337
労務費	112
経費	27
工場販管費	98
本社販管費	4
合計	806

上期実績8億6百万円  
（期初計画5億5百万円）

韓国・亜山（株）に資本出資

- ・ 出資額 2 千万円で出資比率は 11%。(本年 8 月)  
シロキタイランド（タイ）の新工場完成
- ・ 新工場完成・稼働開始。(本年 8 月)
- ・ ウインドレギュレータを一貫生産。

## 2、利益体質の定着化

固定費削減

設備投資の抑制

借入金の削減

- ・ 199 億円（前期末） 179 億円（当中間期末）

## 3、生產品目・生産拠点の見直し

生產品目を主力 5 製品に特化

- ・ 経営資源の集中化により、高品質・高機能・低コストの世界 NO.1 製品づくりを進め、競争力を高めるとともに、5 大製品の世界 4 極市場への対応を加速。

子会社・関連会社の事業見直し

## 3 . 通期業績予想について

[ 期初予想で増収増益、

前期比では減収減益を予想 ]

今後の見通しにつきましては、前期比では米国経済の減速や円高進行の影響などが懸念され、引き続き厳しい経営環境が予想されます。自動車業界におきましても円高による輸出環境の悪化が懸念され、また東京モーターショーを起爆剤に市場活性化が期待されるものの、先行き不安による消費者心理の冷え込みなどから、本格的な市場回復には至らないものと予想されます。一方期初予想に対しては、当初の予想より主力得意先の輸出が堅調に推移していることもあり増収を予想しています。

こうした背景を基に、通期売上高は 874 億円で前期比 26 億 8 千 7 百万円減の 3.0% の減収、期初予想 845 億円に対しては 29 億円増の 3.4% の増収を予想しています。

通期利益につきましては、前期比では売上高の減少や退職給付費用の増加 4 億 6 千 6 百万円、社会保険料の増加 1 億 9 千 7 百万円などにより、営業利益は 28 億円で前期比 17 億 1 千 6 百万円（38.0% 減）の減益、経常利益は 29 億円で前期比 15 億 9 千 8 百万円（35.5% 減）の減益を予想しています。

### 個別通期予想

(上段予想、下段前期実績)

#### 売上高：

874 億円  
900 億 8 千 7 百万円  
(前期比 3.0% 減)

#### 営業利益：

28 億円  
45 億 1 千 6 百万円  
(前期比 38.0% 減)

#### 経常利益：

29 億円  
44 億 9 千 8 百万円  
(前期比 35.5% 減)

#### 当期純利益：

10 億円  
15 億 5 千 3 百万円  
(前期比 35.6% 減)

#### 1 株当たり予想当期純利益

10 円 67 銭  
16 円 88 銭

期初予想では営業利益24億円の予想に対し4億円(16.7%増)の増益、経常利益23億円の予想に対し6億円(26.1%増)の増益を予想しています。

最終損益につきましては、当期純利益は10億円で前期比5億5千3百万円減の35.6%の減益、期初予想7億円に対し3億円増の42.9%の増益を予想しています。

連結決算につきましては、11月20日(木)に発表を予定しています。

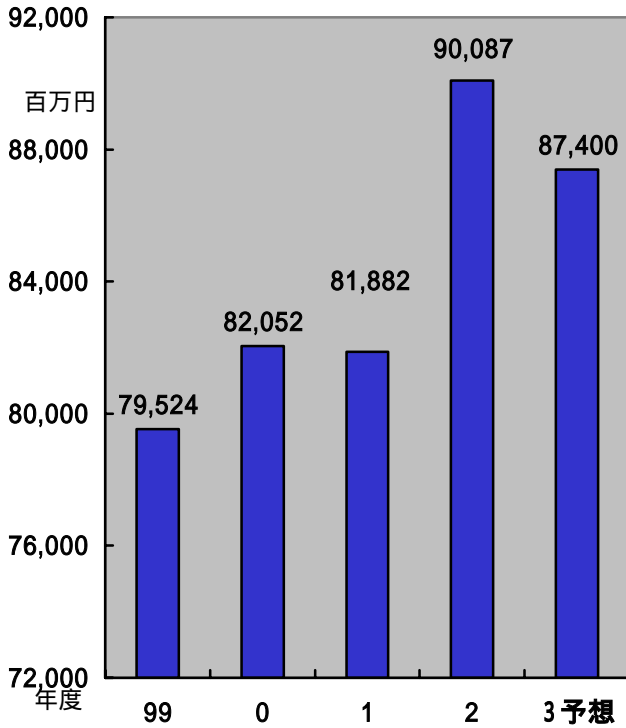
シロキ工業株式会社 (0533)84-4691

この件のお問い合わせは : 経理部長 大石 勝美まで  
ニュースリリースのお問い合わせは : 総務部 広報担当 眞野 成人まで

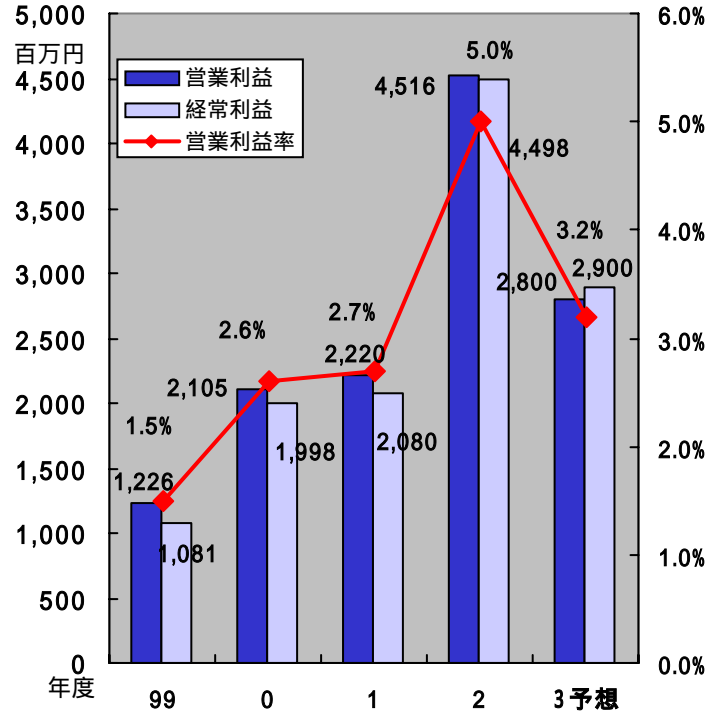
# 業績推移

シロキ工業株式会社

## 個別売上高推移



## 個別利益推移



## 個別財務体質の強化

